

2013年以降の図書館施策に関する経過

2019年11月22日

年	行政の動き	市民の対応・市民参加
2013年 ～2015 年	「多摩市の公共施設見直し方針と行動プログラム」（以下行動プログラム）で、7館のうち地域館4館をいずれ閉鎖、駅前拠点館2館と新本館の3館に集約すると示された。	4館の地域ごとに存続を願う運動が始まり、陳情・要請活動実施。署名数15,000筆以上提出 その後4つの団体が連携、共同で市や議会に働きかけた。 豊ヶ丘複合館存続の会、東寺方複合館の存続を考える会は市と話し合いを続ける。
2016年	3月「多摩市読書活動振興計画」策定 6月「図書館本館再構築基本構想」策定が始まる 7月「行動プログラム」の更新案で地域館4館の当面継続が示される。	基本構想策定委員会に市民団体委員を入れる。傍聴者にも資料を配付。 基本構想策定に向けて、各団体と丁寧にヒアリングを行う。 12月市民意見交換フォーラム・パブリックコメント募集
2017年	3月「図書館本館再構築基本構想」策定 中央図書館建設場所について、議会特別委員会で検討される	6月東寺方図書館友の会が誕生 8月議会特別委員会に対して、中央図書館をつくる会で意見交換を要望、実現する。
2018年	2月中央図書館建設場所が確定 8月「図書館本館再整備基本計画」策定。 基本設計業者を公募型プロポーザル方式で選考開始 豊ヶ丘複合館の存続改修に向けて、市民ミーティングが行われる。 東寺方複合館に存続について「東寺方複合施設を良くする市民懇談会」を開始	基本計画検討委員会に市民団体委員と市民公募委員を入れる。市民参加型学習会方式を実施。 基本計画策定に向けて、各団体と丁寧にヒアリング行う。 6月市民フォーラム実施・パブリックコメント募集 12月豊ヶ丘図書館友の会誕生
2019年	2月図書館本館基本設計業者確定 基本設計策定開始 5月～7月ワークショップ3回 7月市民説明会3回 8月9日基本設計概要書公開、団体や個別の意見に対する回答書送付される。 豊ヶ丘複合館改修に向けて、市民ワークショップが6回行われた。 東寺方複合館改修に向けて、市民ワークショップが予定されている。	3月、教育長、教育部長へ社会教育を考える会より「本館再整備基本・実施設計の今後の進め方についてのお願い」を提出4月回答を得る。 基本設計のワークショップと市民説明会が、意見を聞く方法として一定程度の機能は果たしたが、決定のプロセスとしては不十分であった。 その後基本設計市民検討委員、図書館協議会委員、中央図書館を考える会などが、進め方と設計内容について意見要望を出した。